

建築と社会

Architecture and Society
Journal of the Architectural Association of Japan

日本建築協会
2019 05

Vol.100 No.1166

■特集予告

- 6月号/片岡安賞(日本建築協会論考コンクール)
- 7月号/第66回青年技術者

特集 建設業2.0 ～価値・意識・生産性～

【総論】	建設業2.0●宮崎ひろ志	10
【各論】		
(価値改革)	1 働く場の健康性評価 ～CASBEE-ウェルネスオフィス～●林立也	14
	2 時間をデザインする!●堀井一孝	16
(意識改革)	3 働き方いろいろ ～照明メーカーの取り組み～●伊藤由紀代	18
	4 建築現場の意識改革と生産性向上施策 ●宮地吾郎	20
	5 海外の働き方を知る～タイの場合～●作田 猛	22
(生産性改革)	6 BIMで変わる設備設計業務 ～基本要件モデル活用～●松下 文	24
	7 電気設備工事の効率化 ～労働環境の改善～●阪口浩平	26
	8 オフィスの生産性向上●三船達雄 村田康史	28
	9 設備データの活用●伊良子正	30
【編集後記】		32
会告	2019年度定時総会、篠原祥氏講演会と会員交流懇親会のご案内 第2回片岡安賞(日本建築協会論考コンクール)結果発表 第2回学生のための現場見学会「ザ・パークハウス神戸タワー(旧ファミリアホール)現場見学会 2019年度 第65回工高生デザインコンクール作品募集 第4回建築セミナー 建築と設備の接点 トラブル予防のツボ ARCH-4KANSAI まちづくり提言シンポジウム 予告 追手門学院大学茨木総持寺キャンパス見学会	1 2 3 4 5
gallery	京都の狭小住宅●陶山 徹	8
法令コーナー	BIMを活用した建築確認における課題検討委員会の取り組み●武藤正樹	33
構造の頁	古墳をモチーフにした駅前広場 —天理駅前広場コフフン—●橋本宗明	34
再読 関西の建築	大阪府中河内府民センタービル●福原和則	35
建築と社会を 考える	参加型景観への展望 社会における景観をめぐる動き ●三輪康一	40
新製品レビュー	下階からの騒音対策床衝撃音低減材 サイレントドロップ ●フクビ化学工業株式会社	44
information	クリムト展 ウィーンと日本1900/コレクション展 I 特集「境界のむこう」/特別展 文房四宝—清閑なる時を求めて/ある編集者のユートピア 小野二郎:ウィリアム・モリス、晶文社、高山建築学校	46
月間の動き	2019年3月	48

今月の表紙

「建築と社会」vol.32 1951年11月号「新建築紹介」より阪急航空ビルディング

会誌には、1951年8月10日竣工、「大阪に於ける戦後最初の高層建築」で、昭和14(1939)年に梅田会館として地下2階、地上8階建てで着工されたが、当時の鉄鋼制限のため、地上1階までで放棄せざるを得なくなり、今回の増築工事で階高をぎりぎりつめて9階建てとした、と紹介されている。写真の鋭角部分は、丸みを帯びた船尾とそのハウスを連想させる意匠が特徴的な外観である。

このビルと梅田東宝会館が解体された跡地に「ナビオ阪急」が建設され、その後「HEP NAVIO」、「阪急メンズ大阪」となり現在に至るが、その船を連想させる外観は今も引き継がれている。

